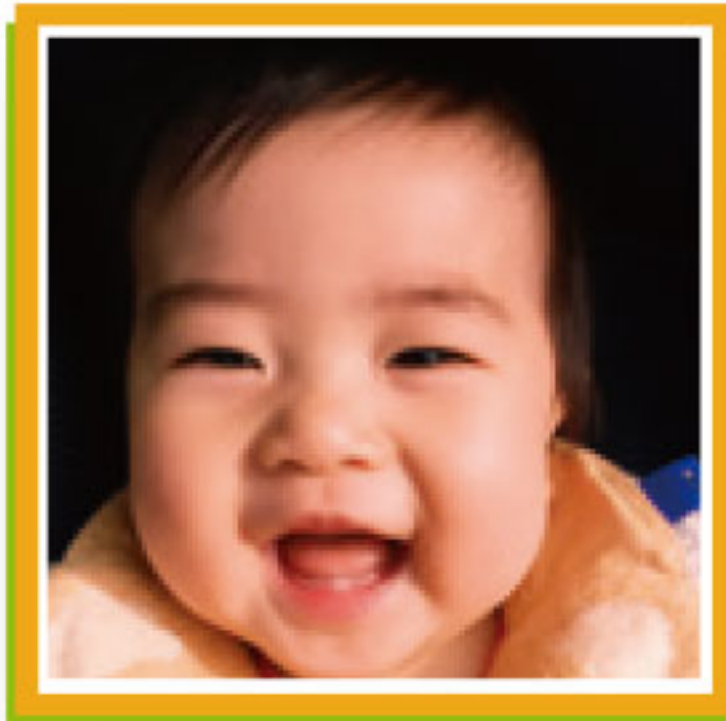
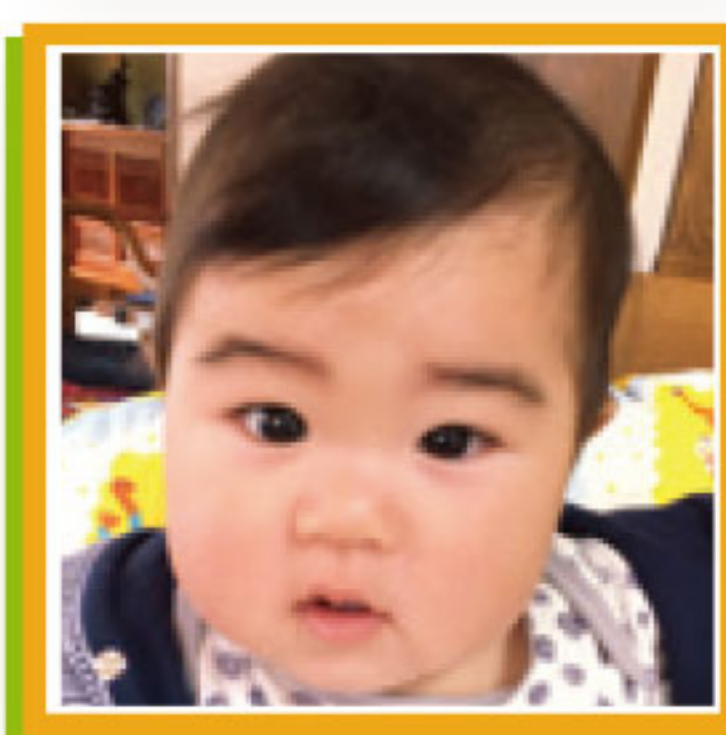


ごみぶち こうや
五味 洸矢 ちゃん
1歳・吉沢



あおき あらた
青木 新汰 ちゃん
10カ月・今市



お子さん(小学生まで)の写真募集

※お子さんの名前(ふりがな)・生年月日・住所・保護者名・電話番号を明記(市内在住の方に限る)

※掲載は1人1回のみ、受付順。

※郵送またはメール(hishokouhou@city.nikko.lg.jp)でデータを送付。
携帯電話・スマートフォンからは、
右のQRコードも利用可。



しんぼ ちんえい
新保 煌永 ちゃん
8歳・木和田島



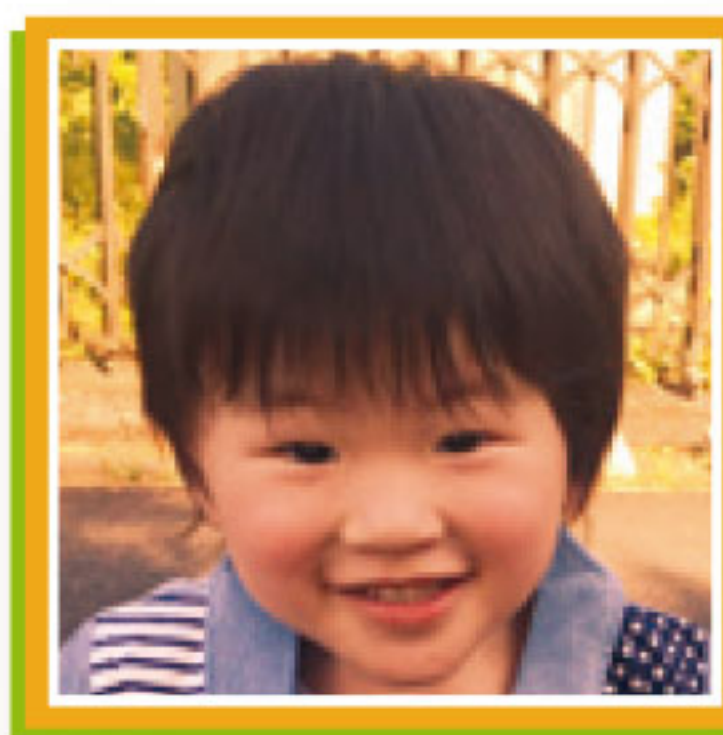
かわむら はるき
川村 陽生 ちゃん
2歳・今市



きむら さあや
木村 咲彩 ちゃん
1歳・土沢



つかはら りりな
塚原 梨々愛 ちゃん
8カ月・塩野室町



つかはら そら
塚原 蒼空 ちゃん
2歳・塩野室町



かねだ あいり
金田 愛菜 ちゃん
5カ月・塩野室町

地域おこし 協力隊通信



第4回(移住推進業務)



よしだたかみつ
今月のリポーター：吉田貴光隊員
(移住推進業務担当地域おこし協力隊)

ます。
日光市外から来たばかりの私が「移住・定住」の協力隊？ と不思議に感じる方もいると思いますので、本日はその背景を交え活動内容を紹介します。

長く日光に住んでいる皆さんからすると「移住・定住」といった言葉は聞き慣れないかもしれませんが、東京や大阪といった大都市ではとても注目されているキーワードの1つです。東京に一極集中している中、地方に移り住みたい移住希望者が多く存在しています。しかし、移住希望者の多くが、移住先を具体的に絞れていないという特徴があります。

そんな背景の中、数ある候補から日光市を知ってもらい、魅力を感じ住んでもらうことが私の活動の目的となります。私の経験ですが、「移住・定住」を検討した

今年の4月から移住推進業務担当の地域おこし協力隊として活動している吉田貴光です。私は日光市役所本庁舎の地域振興課定住促進係に籍を置き、「移住・定住に関すること」を主な業務としてい

際、地域の魅力があることはもちろんなのですが、パンフレットや情報誌などで見ることのできない「内」の情報がとても気になりました。例えば仕事、住居、子育て環境、地域コミュニティなどです。そんな「内」の情報を移住経験者視点で発信していくことが、私からできる活動の1つと考えています。

今後は、空き家バンクを活用した住居紹介やさまざまな制度など、「内」の情報を発信するための資源をいろんな角度から収集し、8月以降に開催する移住セミナーの企画に反映していく予定です。

活動を進める中で、各地域の皆さんにご教示やご支援をいただくことがたくさんあるかと思っています。若輩者ですがこれからよろしくお願いします。



空き家バンクの現地調査の様子